

森林セラピー通信  
森のたより  
(一社)飯南町観光協会  
☎76-9050



カメムシタケ

まだまだ発見のある  
飯南町ふるさとの森

梅雨明けの時期、セラピーロードを歩いていると、足元に何やらマツチ棒のような突起が出ていることに気が付きます。気になったので掘ってみると：そこにはカメムシの亡骸が！調べてみると、その名の通りの「カメムシタケ」と言う冬虫夏草の一種でした。カメムシの生きていたうちに菌が入り込み、カメムシが死ぬと栄養を吸って育つそうです。名作アニメに出てくる場面みたいだったので、一人で

テンションが上がりました。

そして、お次にお届けするのは「オニノヤガラ」です。私も見るのは初めてで、ロード内に1株だけ確認しました。山地の樹林下に生え、ナラタケと共生する無葉ランだそうです。生薬名は「天麻」と言うので、頭痛やめまいに効能があり、名前の由来は鬼が用いる弓矢の柄からきていると言われています。

その他にもかわいらしい釣り鐘型の「ホタルブクロ」や秋にはアケビのような実を付ける「ツチアケビ」の花など、数が少ない珍しい植物に出会えます。長らく森を歩いていますが、未だに新しい発見があります。年によって生えたり生えなかったり、多かったですり少なかったり。森は大きな命の循環だということを感じさせてくれます。自然は多くのことを教えてくれますね。



オニノヤガラ



ホタルブクロ



ツチアケビ

文化を感じるまちへ 飯南町文化協会

事務局(教育委員会内) ☎76・3944

飯南町文化協会に加盟している団体の活動を紹介します。今月は「島根オカリナこもれび」です。

「島根オカリナこもれび」は、3年前のオカリナ教室から始まり、今年、文化協会に入会しました。来島文化祭やオカリナのコンサート、3月には飯南町文化協会交流会に参加しました。

オカリナは、陶器でできた手のひらサイズの小さな土笛で、やさしく素朴な音色が特徴です。一人で自由に、またアンサンブルで変化を楽しむこともできます。繊細な面もあり、音が冷えると音が低くなるため、演奏直前まで自分の手で管を握り、温めます。数人での演奏では、同じ音色になるよう気持ちを合わせ演奏しています。



今後は、「見上げてごらん夜の星を」「琵琶湖周航の歌」など、どこか懐かしい曲や「北の国から」遙かなる大地」「バラが咲いた」「野に咲く花のように」など、色々な曲を施設やサロンなどの地域のふれあいの場で演奏できれば

短歌

頓原公民館短歌教室

七月詠草



我が家にはアマリリス咲きあきや草茂りて今日も穏やかな日々 安部 徳則  
魔の核を浴びたる国と危機の国二人は並ぶドームの前に 石川 隆  
カラフルに三十一文字を詠う先輩重ねて描く声ある母を 大野 順子  
一夜明け焼け跡に立ち泣き崩れ家族の思い見舞の人も 景山 稔  
ふえ過ぎて刈り取った辺りどくだみがスッキリ臭うこれぞ十葉 景山 牧栄  
波静か青き海原日本海鮑かず臨みて去りがたく居り 片岡 千鳥  
健診で出会いし人と話し込む名を呼ばれても気付かないまま 塩田美代子  
鉢植えの撓たわに赤き実をつけてさ庭に映える百両と言う木 千葉トミエ  
名も知らぬ鳥の鳴き声艶かし屋根より呼びぬ梅雨空の朝 本間 啓美  
吹雪く夜に春の作業の戸惑いを見せて感じる一人居の宵 三上 朋子  
これ叔母の仏様とぞしめやかに火葬仕切れる人の声聞く 烏田 勝信

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

友達は  
きずなを深める  
宝物

頓原小5年 岡野 里音さん  
家族名 ふみさん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今月の表紙

神楽愛好会会長の鹿田麻衣さん(3年)八神は日藝選奨を目指して2年間練習に励んできました。「令和元年に結成して、5年目。先輩方の想いを受け継いできました。初心者ばかりな上に、上手くないことも多くありました。それでも、指導してくださる飯南神楽団の皆さんや保護者、地域の皆さんの応援のおかげで最後までやり



遂げることができました。ありがとうございました。うございました」と感謝を述べていました。

【舞】奥野空良(3年) 鹿田麻衣(3年)  
中原颯土(2年) 五所尾航大(2年)  
前島柚花(2年) 三木寛太(2年)  
影山翔音(2年) 中野愛翔(OB)

【裏方】難波ちひろ(2年)

(6ページに関連記事)